

3 産業別生産額

生産額を産業別に平成 12 年と比較すると、第 1 次産業では減少し、第 2 次、第 3 次産業で増加した。

生産額の産業別の構成比は、製造業が 43.2% を占め、全国の製造業の構成比 31.6% に比べ 11.6 ポイント上回っている。

平成 17 年の生産額を平成 12 年と比較すると、第 1 次産業は 6.0% 減となったが、第 2 次産業は 3.4% 増、第 3 次産業は 1.2% 増とそれぞれ増加した。

最も増加率の高い第 2 次産業では、建設が 34.3% 減となったものの、製造業が 13.7% 増となったことから、全体では 3.4% 増となっている。

この結果、県内産業の主力である製造業の構成比は 43.2% となり、平成 12 年と比較すると 4.3 ポイント上昇した。

産 業

産業連関表でいう産業は、財・サービスの個々の生産活動を意味しており、同一事業所で 2 つ以上の品目を生産している場合、それぞれ区分して該当する産業部門に分類する。したがって、企業あるいは事業所をベースとして分類されている通常の産業とはその概念を異にする。

表1 生産額の産業別の構成と伸び

	富山県					全国			
	県内生産額(百万円)		構成比(%)		伸び率(%)	国内生産額(10億円)		構成比(%)	
	平成12年	平成17年	12年	17年	12~17	平成12年	平成17年	12年	17年
01 農林水産業	115,980	109,068	1.3	1.2	-6.0	14,370	13,155	1.5	1.4
02 鉱業	12,481	22,488	0.1	0.3	80.2	1,379	1,008	0.1	0.1
03 製造業	3,388,276	3,852,031	38.9	43.2	13.7	303,270	307,071	31.6	31.6
04 建設	921,585	605,740	10.6	6.8	-34.3	77,311	63,237	8.1	6.5
05 電力・ガス・水道	292,558	296,493	3.4	3.3	1.3	27,004	26,984	2.8	2.8
06 商業	692,958	687,740	8.0	7.7	-0.8	96,948	106,275	10.1	10.9
07 金融・保険	283,616	327,862	3.3	3.7	15.6	38,149	41,587	4.0	4.3
08 不動産	516,856	636,265	5.9	7.1	23.1	65,853	66,206	6.9	6.8
09 運輸	267,472	295,994	3.1	3.3	10.7	47,907	50,744	5.0	5.2
10 情報通信	222,624	171,058	2.6	1.9	-23.2	43,470	45,936	4.5	4.7
11 公務	285,939	334,929	3.3	3.8	17.1	36,226	38,538	3.8	4.0
12 サービス	1,663,800	1,519,567	19.1	17.1	-8.7	202,789	207,306	21.1	21.3
13 分類不明	49,995	47,689	0.6	0.5	-4.6	4,212	3,968	0.4	0.4
産業計	8,714,139	8,906,924	100.0	100.0	2.2	958,886	972,015	100.0	100.0
(再掲) 第1次産業	115,980	109,068	1.3	1.2	-6.0	14,370	13,155	1.5	1.4
第2次産業	4,549,879	4,702,665	52.2	52.8	3.4	401,247	389,994	41.8	40.1
第3次産業	4,048,280	4,095,191	46.5	46.0	1.2	543,269	568,866	56.7	58.5

13部門表の区分

第1次産業：01

第2次産業：02～04、34分類ベースの「電力・ガス・熱供給」

第3次産業：34分類ベースの「水道・廃棄物処理」、06～13

図1 生産額の産業別構成比

